繭の收穫

秋になつて來ました。山地の秋蠶も、いよ〳〵收穫が間近に一週間の養蠶は、大雨中の採桑など、苦せまつています。思へばこと一個月の養蠶は、不眠不休の給桑、不眠不休の給桑など、苦しい事も多かつたが、これからの收穫の仕事がもつとも大切です。例へば、蠶兒が成熟すると上簇（ジョウゾク）させて、繭をつくらせますが、この一週間の養蠶技術が非常に繭の產量と質に影響するのです、そこで、今回は上簇から收穫について、注意すべき事を述べてみませう。

簇器の準備

上簇と云ふのは、成熟した蠶兒を簇器（蠶が繭をつくる場所）の中に移して、繭をつくらせる事です。簇器にも種類が多く、普通には稻稈でつくります。臺灣で慣用されている簇器は「折簇」と呼ばれるもので、簡單な製簇器でつくります。製簇器は養蠶の盛な鄉村や養蠶指導員のところに設へてありますから、何時でも借用できます。折簇一個をつくるには稻稈一斤で充分で、先ず稻稈をよく乾燥させて、清潔にしてから、製簇器の中にさし込み、ハンドルを交互に廻せば五分間で出來あがる簡單なものです。出來あがつた折簇は數個づつ、まとめて縛つておき、必要な時にほどして使用します。

なほ、蠶病予防のために、使用した折簇は燒却するか、或は堆肥として處理した方が安全です。

熟蠶の上簇

成熟した蠶兒は熟蠶と呼び、全身が透明になり、食桑をしません。この頃になると、首を上に伸して、さかんに繭をつくる場所を求めますが、この時が上簇させる適期です。

上簇させる方法は、養蠶數が少い時、あるいは人手の多い時には、一匹づつ成熟したものから拾へば良いのです。然し、秋蠶のように、ほとんど同時に大部分の蠶兒が成熟する時には、迅速に處理しないと、所を選ばずに糸を吐きますから、「網取法」で上簇します。

網取法と云ふのは、蠶兒が多數成熟した時に、蠶網をかぶせます。この樣にすると、未熟蠶は網の下で食桑しますが、熟蠶は網の上面にはひ上りますから、その時に網を別所に移して上簇させます。

熟蠶の消毒

秋蠶の時期は氣候が高溫多濕であるため、硬化病が發生しやすいので、拾ひ取つた熟蠶は消毒を行つた方が、收穫が保障されます。熟蠶の消毒は、普通に漂白粉の二〇〇倍液、あるいはフォルマリンの一パーセント液を使用します。消毒法は噴霧器を使用して散布しても良く、或は熟蠶を藥液の中に浸して、すぐに取り出す方法もあります。

この消毒をしなくてもすむ場合がありますが、硬化病の流行している地區では、非常に必要な事です。

（製簇器で簇器を製造している圖）

上簇の頭數

上簇をする熟蠶の數は、適度を保つことが大切で、少すぎると場所が不經濟で、多すぎると往々にして收穫した繭の質を不良にします。標準の數は、一平方尺に上簇熟蠶が四〇—五〇匹で、一個の折簇には二五〇—三〇〇匹が入ります。故に二、三個の折簇で、繭一公斤を得られる計算になります。

溫度と濕度

上簇時の室內の溫度は、華氏七〇—七五度が最適で、上簇の第一日は溫度をやや高く、熟蠶の位置が固定して繭箔上に適當に給桑し、更にその上に一枚の蠶網をかぶせます。この樣にすると、未熟蠶は網の下で食桑しますが、熟蠶は網の上面にはひ上りますから、その時に網を別所に移して上簇させます。

網取法

通風と光線

上簇後の三日內は、熟蠶が繭をつくる頃で、この時が最も濕氣の多い時です。さきに述べたように、過度の濕氣は繭質を不良にしますから、排濕の方法として、繭の外層が形成された時に室內の通風換氣を行ふことです。通風が良ければ室內の濕氣は排除され、それと同時に、アンモニアなどの有害氣體を排出する事ができます。

室內の光線は、明るすぎても暗すぎても、繭の形成が遲くなり、繭層の厚薄が平均しない等の不利な結果を生じやすいから、光線は室內に平均に照射されるように工夫して下さい。

簇中の數紙

熟蠶の體內には、平均して糞が五六粒、尿が〇・五CCありますが、これ等は蠶室內に濕氣を加へ、繭層を汚すものですから、繭をつくる前に除去することが、良い繭を得る上において大切です。その方法は上簇前に、簇器ある、一週間の養蠶技術が非常に繭の產量と質に影響するのです、そこで、今回は上簇から收穫について、注意すべき事を述べてみませう。

簇器の準備

上簇と云ふのは、成熟した蠶兒を簇器（蠶が繭をつくる場所）の中に移して、繭をつくらせる事です。簇器にも種類が多く、普通には稻稈でつくります。臺灣で慣用されている簇器は「折簇」と呼ばれるもので、簡單な製簇器でつくります。製簇器は養蠶の盛な鄉村や養蠶指導員のところに設へてありますから、何時でも借用できます。折簇一個をつくるには稻稈一斤で充分で、先ず稻稈をよく乾燥させて、清潔にしてから、製簇器の中にさし込み、ハンドルを交互に廻せば五分間で出來あがる簡單なものです。出來あがつた折簇は數個づつ、まとめて縛つておき、必要な時にほどして使用します。

なほ、蠶病予防のために、使用した折簇は燒却するか、或は堆肥として處理した方が安全です。

熟蠶の上簇

成熟した蠶兒は熟蠶と呼び、全身が透明になり、食桑をしません。この頃になると、首を上に伸して、さかんに繭をつくる場所を求めますが、この時が上簇させる適期です。

上簇させる方法は、養蠶數が少い時、あるいは人手の多い時には、一匹づつ成熟したものから拾へば良いのです。然し、秋蠶のように、ほとんど同時に大部分の蠶兒が成熟する時には、迅速に處理しないと、所を選ばずに糸を吐きますから、「網取法」で上簇します。

網取法と云ふのは、蠶兒が多數成熟した時に、蠶網をかぶせます。この樣にすると、未熟蠶は網の下で食桑しますが、熟蠶は網の上面にはひ上りますから、その時に網を別所に移して上簇させます。

熟蠶の消毒

秋蠶の時期は氣候が高溫多濕であるため、硬化病が發生しやすいので、拾ひ取つた熟蠶は消毒を行つた方が、收穫が保障されます。熟蠶の消毒は、普通に漂白粉の二〇〇倍液、あるいはフォルマリンの一パーセント液を使用します。消毒法は噴霧器を使用して散布しても良く、或は熟蠶を藥液の中に浸して、すぐに取り出す方法もあります。

この消毒をしなくてもすむ場合がありますが、硬化病の流行している地區では、非常に必要な事です。

上簇の頭數

上簇をする熟蠶の數は、適度を保つことが大切で、少すぎると場所が不經濟で、多すぎると往々にして收穫した繭の質を不良にします。標準の數は、一平方尺に上簇熟蠶が四〇—五〇匹で、一個の折簇には二五〇—三〇〇匹が入ります。故に二、三個の折簇で、繭一公斤を得られる計算になります。

溫度と濕度

上簇時の室內の溫度は、華氏七〇—七五度が最適で、上簇の第一日は溫度をやや高く、熟蠶の位置が固定して繭箔上に適當に給桑し、更にその上に一枚の